

## 時事新報

### 江越鐵道敷設ニ就テノ問題

運輸交通ノ便未ダ開ケズ文明開進ノ器具未タ備ラズ商賣ノ隆盛、物産ノ繁殖其他百般ノ事物改良進歩セザルハ我輩ノ常ニ遺憾トスル所ナリ是故ニ我輩ガ開明ノ議論ノ結果ニ於テハ未ダ嘗テ此點ニ論及セザルハ有ラザルナリ就中鐵道ノ如キハ速ニ空國中ニ敷設セザル可カラサル所以モ屢々論辨シタルアリ然ルニ近來鐵道敷設ニ就テ一箇ノ問題出現シタリシ讀者ハ我新報第三百六十號以下雜報欄内ニ於テ時々掲載シタル大坂商法會議所ガ同府勸業課ニ報告シタル事項如何ヲ記憶セラル、ナラン是即チ江越間鐵道敷設功ノ上同府下商業上ニ對スル利害如何ノ調査ニ係ル者トス其中利益ヲ擧ケタルモノ少カラズト雖モ亦其害ヲ受クルノ推測頗ル多シト是ヲ以テ大坂府ニ於テハ再ビ同會議所ニ向ヒ諮問書ヲ發シテ云ク「曩ニ江越間鐵道敷設ニ付大坂商業上ニ影響スル利害及ヒ諮問詳細ナル答辭ヲ得具サメ之ヲ檢案スルニ利害相半ハスルコト非ズシテ寧ろ不幸ノ影響ヲ被ルモノ、如シ果シテ然ランコト如何ノ方法ヲ以テ此繁榮ヲ後來ニ維持スベキ歟害ノ免ルベキハ之ヲ免レ防クベキハ之ヲ防グ進テ之ヲ利用スルノ用意ナカル可ラズ冀クハ備サニ其方向ヲ究メ委曲開申有之度候也」ト是ニ於テ同會議所ハ更ニ二三回ノ臨時會議ヲ開キ反復討論議定セシ所アリト（此書ハ本日ヨリ雜報欄内ニ續々記載スベシ）斯クシテ此問題ハ意外ニモ重要切實ノ事トナリ遂ニ我輩ヲシテ一篇ノ文章ニシテシムルニ至レリ

所謂江越間鐵道トハ軸ヲ神戸港ニ發シ大坂京都ヲ經テ江州大津ニ達シ（以上既成ノ線路）其ヨリ瀨尾琵琶湖上ヲ渡リ長濱ヨリ軌道ヲ起シ越前敦賀港ニ到ル線路ナリ其間湖水ト共ニ算スレバ殆ント六十里ニ亘リ目下我國鐵道ノ最モ長キモノトス而シテ此線路ハ日本本島ヲ南北ニ橫斷スルモノナレバ鐵道ノ迅速ヲ以テ同一方向ナル航路ノ線ト相擬フノモノナラズ迂回ノ航路ヲ捨テ、捷徑ノ航路ヲ開クモノニシテ其便利可カラズ從來此航路ハ北海北陸ヨリ敦賀港ニ至リ其ヨリ下ノ關海峽ヲ廻リ中國ノ内海ヲ通過シテ大坂ニ入ルヲ常トス即チ敦賀ヨリ大坂迄海上三百餘里ニシテ其航路ハ北前船ニテ三十日乃至五十日ヲ費シタリ然ルニ此鐵道一線聯絡スルモハ該港ヨリ大坂迄五十里許ニシテ二三時間ヲ費サ、ル位ナレバ殆ント百分ノ一ニ減スル勢ナリトス此ノ如ク便利ノ大ナル程其變動モ亦隨テ急激ナルモ自然ノ理ニシテ夫ノ西洋諸國ガ東洋ニ航スルニ帆船ヲ以テ客運轉回航スルト濱船ヲ以テ貨運運河ヲ走スルノ差ノ如ク實ニ江越鐵道ノ聯絡ハ蘇西運河ノ開通ト其價頗ル相似タルモノアリ其實島上ノ變動ハ

萬々免ル可カラサルモノナリ殊ニ直接ノ關係ヲ有スルモノハ大坂トス是レ同府下ニ於テ切ニ其利害ヲ考究スル所以ナラン

然リト雖モ我輩ハ常ニ鐵道ノ一寸半尺モ延長セザルニ憤ムモノニシテ又商業上ノ變化ノ甚大ナラズシテ而モ活潑ナラザルニ憤ムモノナレバ瑣々之レガ利害ヲ論スルニ違アラザルナリ固ヨリ全國公共ノ利害ト一部ノ地方個々ノ利益トニ付テハ自ラ差異アルモノニシテ大坂府ガ大坂府ノ利害ニ汲々タルモ亦全ク遺棄ナキコトアラズト雖モ我輩ハ何ノ地方何ノ物品ニ拘ラズ交通運搬ノ便ヲ得テ其利アラザルナク活潑變化ノ機ヲ有シテ改進ニ赴カザルモノハアラズト信ズルモノナレバ以上ノ事項ヲ以テ敢テ一問題トナスノ要ヲ見ザルナリ若シ夫レ強テ其利害ヲ論セントナラバ我輩ハ左ノ一語ヲ以テ之レニ答フ可シ

江越鐵道ノ開設ハ大坂商人ノ愚昧遲鈍ナル者ニ害アリ

何トナレバ則チ鐵路敷設ニ付新ニ運路ヲ開キ商業上ノ順序一變スルニ及シテハ或物貨ノ製産地ヨリ直ニ需用地ニ至リ復テ大坂商人ノ手ヲ經ザル者モアラシ、或地方ハ東京又チ其他ノ地方ノ需用ヲ仰ギシモノ一旦大坂商線内ニ入ル者モアラシ、或大坂ニテ或品ヲ需用アルニ臨ムモノ一二ヶ月ヲ經ザレバ隔地ノ供給ヲ得ザルモノ一夜ノ中ニ輻輳シ來ルモノアラシ、又或ハ當所供給ノ多キニ苦ミ他所ノ欠乏ニ充タサントスルモ時機ヲ晚ル、ノ患アリシモ瞬間之ヲ充タスノ便モアラシ此時ニ方リテ能ク其變ニ應ジテ之ヲ利用シレバ多々益辨シ機ヲ察シテ其害ヲ豫防スレバ能ク其災ヲ避ケ轉テ利トナシテ待ベキナリ只其利ヲ取ルト取ラザルト其害ヲ避ケルト避ケザルトハ人々方寸ノ中ニ在リテ素ヨリ其業態ノ如何物品ノ如何ニ關セザルコトス而シテ活潑敏智慮アルモノ獨リ能ク之ヲ左右シ得ベク、愚昧遲鈍世情ニ通セザル者常ニ損耗ヲ被リ陷算ニ入り或ハ時機既ニ去テ復テ還フ可ラズ茫然トシテ人後ニ踪若タルノ奇譚モアラシ交通不自由ノ社會ニ蒸氣ヲ利用スルハ劍術專一ノ世ニ火器ヲ發明セザルモノニ異ラズ火器既ニ成リタリ劍客ノ爲ニ舊時ノ利ヲ保護セントスル固ヨリ得可カラズ強ヒテ保護セントナラハ初ヨリ銃砲ヲ作フサルノ優レニシテ若カズ我輩ハ斯ル事ニ就キ貴重ナル日月ヲ費シテ思想論ヲ好マサルナリ加之コト火器ニ等シキ蒸氣ノ利用ハ專有ノ主人アルモノニ非ズ其利ハ則チ之ヲ利スル人ノ利ナレバ大坂ノ商人コトモ江越ノ農民ニテモ唯過テ其利ヲ取ル可キノ難レカ之ヲ妨ル者アラバ然レテ依然舊地歩ニ止リテ他ノ運動ニ驚クガ如キハ火器發明ノ後ニ尙モ秘藏ノ寶劍ヲ弄ハント欲スル者コトナラス我輩共ニ語ルヲ屑トセサルナリ故ニ曰ク江

## 雜報

- 溫泉行啓 皇太后宮内近日上野伊香保ノ溫泉へ行啓在せ給ふや承り候
- 御對顔 皇太子明宮皇女増宮同遊宮共御三方より學藝前號御記載せし如く一昨十四日御参内御呈給ひて 聖上兩皇后宮へ御對顔在らせたまるといふ
- 小笠原島巡視 西四辻、太田の兩侍従は今般小笠原島へ巡視を命せられ不出發せるといふ
- 下賜 宮中候ノ華族方へ本年上半年勤務ノ慰勞とて御盃袴地圖等々々々下賜されたり
- 留別ノ盛宴 前號御記載せし英國公使パークス氏ガ今度清國北京在勤を命せられ赴任近きを以て去十一月留別ノ宴會を開く筈なりしが都合ありて一昨十四日延會し同日午後五時卅分有栖川御父子小松侯を北白川開院梨本ノ七親王及三條大臣各參議各國公使領事其他の貴紳數十名を招請したり清國海陸軍の奏樂ありて興を助け頗る盛筵なりと聞きぬ又右付午後十一時四十五分新橋方横濱迄の臨時電報を發して歸港の客を送りたる由
- 曾我中將 曾我參謀本部次長より去る十二日歸海より歸京ありたり
- 石川重立君 長野裁判廳詰石川檢事より去る十三日上海に上りたり
- 宮原次郎君 今度英國へ甲鐵製造注文の爲に派遣せられし海軍大機關士宮原次郎君が八年間英國留學し同國の機關學校卒業の後更ニ造船所所長と爲り英人と共に造船の業ニ從事し凡そ二年間實地ニ造船術を修め本年春歸朝の後間もなく中機關士に任ぜられ今度更ニ大機關士に昇進ありて同國へ派遣を命せられたるありと云
- 板垣退助君 自由黨總理板垣退助君は一昨日午前出立して箱根温泉へ湯治お越せたり
- 伊藤欽亮君 先頃迄長崎西海日報社の社長たりし同君は昨日歸京ありたり
- 高橋正信君 朝鮮國が長崎船着しる旨去十日日紙上にお記載したる同君は昨日午前和歌山の浦丸にて若京にありたり
- 拜命 農商務省准委任御用掛服部五十二君は同省權少書記官も同省所轄育亨坊會計監督波多野一等風は同省准委任御用掛何れも一昨日拜命せり
- 罷職 過般來遠洋航海の龍驤艦乗組海軍少佐中津爲雄君及樺尾大尉東郷中尉鹿野中尉四名ハ南亞米利加洲智利國タルパニアウ港碇泊中同國政府の案内依り四月十九日同港出發國都サンチャゴへを縦貫し同二十一日

歸京ありたり

木、舟木

り國都

日歸艦

○二軍艦

設は猶ほ

地なる等

所に於て

業の生後

○軍艦買

ひ入れた

ロング

せしもの

不用勿屬

り今度

長さ二

隨機二

ストロン

お及ぶ

○水雷火

○清佛の

は佛國の

て談判を

ひ佛國

い毫も清

李鴻章

此仲裁

電報を德

しや吾人

差送られ

り今度の

と訓令し

ルツウ氏

を發する

○又他の

氏も相繼

并赤紅河

るよしを

なる所あり